

## アール・ブリュットネットワークについて

アール・ブリュットに関わる各分野の関係者による「アール・ブリュットネットワーク」を平成 25 年(2013 年)2 月に設立することとなった。

### 1. アール・ブリュットネットワークの目的

アール・ブリュット作品の制作を支援し、見出し、その魅力を発信していく一連のプロセスに携わる美術、福祉、医療、研究機関、行政等各分野の関係者間の交流を促進し、各活動の課題解決につなげるとともに、アール・ブリュットに関する情報発信等を行うことにより、アール・ブリュットを支える環境全体の底上げを図り、その動きを広げていくことを目的とする。

### 2. ネットワーク発足の背景

2011 年に、滋賀県社会福祉事業団により、アール・ブリュット作品を見出し、その魅力を発信していく一連のプロセスに携わる美術、福祉、医療の各分野の関係者が一堂に会する「アール・ブリュット作品調査ネットワーク会議」の設置が呼びかけられ、アール・ブリュットの更なる振興に向けた全国的な協力・連携体制のあり方が検討された。作品調査ネットワーク会議の活動は1年間の有期限であったが、検討の中で、継続的なネットワーク設立の機運が高まることとなった。

### 3. これまでの経緯と今後のスケジュール

- (1) 発起人呼びかけ(7~8月)
- (2) 設立準備会委員への参加呼びかけ(8月)
- (3) 設立準備会の開催
  - ・開催日 ① 8月30日 ② 9月30日 ③ 12月27日
- (4) 会員募集開始(12月18日~)
- (5) ネットワーク設立・設立記念フォーラム
  - ・開催日 平成25年(2013年)2月10日(日)

※「アメニティーフォーラム17」と同日

### 4. ネットワークの組織と活動

#### (1) 組織

ネットワークは会員および情報会員で構成し、役員として会長および副会長を各1人置くとともに、運営方針等の検討や事業に関する企画を行う企画委員会を設置する。また、専門的な知見を得るため、顧問を置くことができる。

事務局は、当面の間、滋賀県総合政策部「美の滋賀」発信推進室および社会福祉法人滋賀県社会福祉事業団に置く。

## (2) 活動

当面は、会費を徴収せず、フォーラム（年1回）や情報交換会の開催による会員間の交流促進、およびメールマガジンの発行などによる情報提供を行う。

今後のネットワークの運営や取り組みについては、会員の中から選ばれる企画委員会により検討を進める。

## 5. 発起人（敬称略・50音順）

青柳 正規（独立行政法人国立美術館理事長・国立西洋美術館長）

嘉田由紀子（滋賀県知事）

北岡 賢剛（社会福祉法人滋賀県社会福祉事業団理事長）

末安 民生（社団法人日本精神科看護技術協会会長）

田ロランディ（作家）

日比野克彦（アーティスト・東京藝術大学美術学部先端芸術表現科教授）

保坂健二郎（独立行政法人国立美術館・東京国立近代美術館主任研究員）

鷺田 清一（大谷大学文学部教授）

## 6. 設立準備委員（敬称略・50音順）

アサダワタル（日常編集家・事編kotoami主宰）

井上 誠一（厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課長）

片山 泰伸（社会福祉法人愛成会副理事長）

亀井 若菜（滋賀県立大学人間文化学部准教授）

栗原 祐司（京都国立博物館副館長）

下林 徹也（滋賀県立近江学園主査）

末安 民生（社団法人日本精神科看護技術協会会長）

西川 賢司（社会福祉法人滋賀県社会福祉事業団企画事業部文化・芸術推進課長）

はたよしこ（ボーダレス・アートミュージアムNO-MAアートディレクター）

保坂健二郎（独立行政法人国立美術館・東京国立近代美術館主任研究員）

宮川 正和（滋賀県総合政策部管理監）

山口真有香（滋賀県立近代美術館学芸員）

## 7. 設立準備会事務局

滋賀県総合政策部「美の滋賀」発信推進室

社会福祉法人滋賀県社会福祉事業団企画事業部